



平成28年度滋賀県アートコラボレーション事業

第3回

# 近江の歴史文化遺産 景観を描くあいしょう絵画展

平成28年度 7月30日 ▶ 8月7日

会場 愛荘町立ハーティーセンター秦荘 中ホール



審査員：鶴房健蔵（日展会友・光風会会員）、眞野康洸（日本画家）

主催：滋賀県、（公財）滋賀県文化振興事業団、  
（一社）愛荘町文化協会

後援：愛荘町、愛荘町教育委員会、愛荘町愛知川観光協会、  
（一社）愛荘町秦荘観光協会、NHK大津放送局、  
BBCびわ湖放送、朝日新聞大津総局、毎日新聞大津支局、  
読売新聞大津支局、中日新聞社、京都新聞、滋賀報知新聞社  
（順不同）

## 《総評》

今回の第3回展の応募点数が120点となり、昨年より45点も増える盛況さで、郷土の歴史文化遺産や景観に関心をもつ熱意の高まりが感じられ、特に今回若い高校生の出品も見られて好感を持ちました。

何気なく見ている対象に、新たな感動をもつ上に、その描き方や色彩の使い方の工夫で一段と質の高いものになります。

全体的に、絵を描くことで対象を見る姿勢に一生懸命取り組むものが感じられました。

今後の益々の発展に期待するものです。

鶴房健蔵

眞野康洸



## グランプリ

『向之倉』

岡村 康臣（彦根市）

向之倉は多賀町の山中にいくつか点在する廃集落の一つである。集落跡から続く細い山道を少し下ると桂の大木と小さな社が迎え入れてくれる。

### 【講評】

この絵から受ける第一印象は、人気のない静かな雰囲気の中で作者と古木が対話をしているようで、見ていて気持ちが落ち着くような感じを受けました。画面から決して派手さはないが、気負わずにじっくりと腰を落ち着けて作品を仕上げられておられるところが、見る人を引き付けるのではないのでしょうか。

眞野康洸

## 特選一席

『晩秋の田代川(Ⅰ)』

黒川 勝年(栗東市)



信楽の山間を流れる田代川。その水面がまぶしく輝き晩秋の静けさを誘う。

### 【講評】

日本の原風景を思い出させるような雰囲気  
の絵です。画面全体の色もよく調和がとれ  
ていて力みもなく自然な感じで描いておら  
れます。上半分は抑えられた色彩に対して、  
流れる水は明るく表現されているのでバラ  
ンスも良くなっています。橋の真中にある  
木は少し橋の下にも見えるようにした方が  
納得できると思います。

眞野康洸

## 特選二席

『綿向山淡雪』

大河原 政之(東近江市)

蒲生町川合橋の少し上流より綿  
向き山を望む。

### 【講評】

山村の集落風景を一生懸命、丁寧  
に描き込んだ感じで季節感もよくで  
ています。

鶴房健蔵



## 特別賞 愛荘町長賞

『春雪の稲木』 瀬戸口 園子 (彦根市)

【講評】愛荘町の冬によく見うけられた積みわらの風景です。三つの積みわらが構図的にうまく配置されていてリズム感が感じられます。それに対して稲木の枝が二本とも少し単調になっていますので、空の部分の空間を考えてひと工夫されてもよかったですのではないのでしょうか。

眞野康洸

## 特別賞 愛荘町教育委員会教育長賞

『静かな空間』 小松原 正二 (彦根市)

【講評】レンガの建物に冬枯れのつたのからまっている風景で、作者自身の感動が感じられるが、つるの描き方には変化をもたせて一工夫欲しい気がします。

鶴房健蔵

毎日新聞社賞	『太郎坊宮』	森 泰宏	近江八幡市
京都新聞賞	『土倉鉱山 栄華の跡』	石田 雄三	大阪府枚方市
中日新聞社賞	『太郎坊の春』	肥後 訓次	近江八幡市
朝日新聞社賞	『清流の詩(朽木)』	建野 佳子	京都市
読売新聞大阪本社賞	『時を超えて』	北尾 英次	大津市
NHK 大津放送局長賞	『雪のヨシ原』	井上 弘	東近江市
びわ湖放送賞	『刻』	芳井 秀子	長浜市
滋賀報知新聞社賞	『伊庭坂下し祭り』	川合 時廣	長浜市
ホルベイン画材賞	『反射』	樋口 緋弥歌	長浜市
ホルベイン画材賞	『漁港の午後』	福澤 昭吉	甲賀市

出品総数 120 点

審査員特別出展	『湖彩』	鶴房健蔵
	『凍った川』	眞野康洸

## 【お問い合わせ】 愛荘町立ハーティーセンター 秦荘



〒529-1234 滋賀県愛知郡愛荘町安孫子 822 番地  
＜指定管理事業者＞一般社団法人愛荘町文化協会  
TEL:0749-37-4110 FAX:0749-37-4113  
URL:<http://www.heartycenter.jp/>  
E-mail:[info@heartycenter.jp](mailto:info@heartycenter.jp)